

休耕地を有効活用と雇用を促進

株式会社 皆建 緑化事業部 代表取締役 皆川 一二

〒959-2641 新潟県胎内市若松町4-12

TEL 0254-43-5849 URL <https://www.kaiken-tainai.com>

《事業紹介》

弊社はスナゴケを用いた防草緑化一体化シートによる緑化事業に取り組んでおります。シートにスナゴケを使用することで、肥料、散水、刈込等メンテナンス要らずで、シートなので雑草を抑制ができて、除草作業もありません。スナゴケは土壌も必要なく生育するため緑地帯以外にも施工可能です。



〈こんな所に施工するとよいです〉

- ・交通量の激しい中央分離帯・緑地帯で除草作業員の安全が確保できず、除草困難な場所
- ・管理地が多く、対応に追われて毎年管理費用が掛かる場所
- ・変則交差点等雑草が伸びることで視界不良による交通障害をもたらす場所
- ・歩道の緑地帯、横断歩道近くの緑地帯等、園児達の通学路となっており、雑草の伸びている場所



《新事業について》

農業に携わる方達全体が高齢化、後継者不足、専業ではお金にならない等、日本の農家さんたちはさまざまな問題に悩まされています。機械化が進んでトラクター、田植え機、コンバイン、乾燥機は必須となった現在はこのような設備の簡易経費も苦となる。特に機械の能力を十分に発揮できない中山間地の圃場は容赦なく廃業へ追い込まれています。

まこもたけという作物に出会いまこも栽培はこのような問題をクリアできる

のではないかと期待しています。栽培には高齢者でも可能な軽作業中心で且つ機械設備をほとんど必要としないのです。



まこもたけ栽培と収穫

《まこもたけ生産を開始しました》

まこもたけをご存知でしょうか。栄養価豊富なイネ科の食物ですが、イネのように穂を収穫するのではなく太く肥大した茎の部分を食べます。タケノコのようなエグミもないし、あっさりした味で、ほんのり甘みを感じるが、変な主張はしないため炒め物、揚げ物などいろいろな料理で楽しめます。

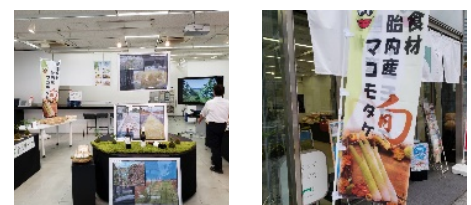


まこもたけと調理例

《今後の課題》

まこもたけは日本の風土でどの地域でも栽培できます。三重県三重郡菰野町、石川県河北郡津幡町などでは特産化がすすめられていて盛んなようです。私どもの地元胎内市でもそれに習いながら、地元で認知していただくことで収穫したまこもたけの売り先確保に努めているところです。

引き続き地元の企業として、地域のインフラ整備と耕作放棄地の有効活用に僅かながら尽力して参ります。



防草緑化一体化シートとまこもたけイベントの様子